



業務をしたい」

札幌市・中央区のそば店です。

店内に貼っていた「黙食」のポスターを2月に外しました。

この店でも3月13日から客はマスクを外せますが、スタッフは着用します。

そば処ふうび 石野 裕司 店主：「客がリラックスできる空間が飲食店として一番だと思う」

一方で、ススキノでは3月13日以降も「客にマスクの着用をお願いする」という居酒屋もありました。

野暮天 高橋 憲理さん：「店でもマスクを忘れたり、無くした人のために(マスクを)用意している」

新型コロナ感染拡大の原因の一つとして、真っ先にやり玉に挙げられたのが「夜の繁華街」だったからだと言います。

野暮天 高橋 憲理さん：「一番最初に飲食店がやり玉に挙げられる。しばらくは様子見かな。もう(営業自粛の頃には)戻りたくない」

3月13日以降、基本的には屋内、屋外問わず、マスクをつける、つけないは“個人の判断”ということになる。

基本的にはマスクをする、しないは個人の判断にゆだねられるが、札幌市役所や区役所、銀行、スーパーやコンビニなどは、従業員、職員などはマスクを着用するという方針のところもある。

カラオケや映画館も基本的にはマスクを付けなくてもいいが、事業者によっては、着用をお願いするという所もある。

●学校では4月1日から、原則、個人の判断となる。

●病院や高齢者施設、混雑している公共交通機関などでは“着用を推奨”

マスクの着用を推奨される場所もある。お願いベースで強制ではないが、病院や高齢者施設の職員や利用者。

さらに公共交通機関も個人の判断ではあるが、混雑している場合は、マスクの着用も考えてください、ということになる。

マスクの強制などがなく、徹底しなければならない。

